

令和6年2月22日

安芸市福祉事務所  
所長 長野 信之 様

安芸市立安芸おひさま保育所  
所長 川久保 二美



## 令和5年度 安芸おひさま保育所園評価報告書

### 1. 保育所における自己評価の記録

| 月   | 自己評価                                                                                  |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月  | ○園経営計画の作成<br>○本年度の重点目標の設定<br>○園評価項目・指標の設定<br>○職員への園経営計画・園評価計画の説明と共通理解<br>○保護者への園評価の説明 |
| 8月  | ○保護者への園経営計画・園評価計画のお知らせ<br>○中間評価の実施（職員の自己評価・園の自己評価）<br>○設置者への報告、改善策の検討                 |
| 11月 | ○保護者へのアンケート実施                                                                         |
| 1月  | ○保護者アンケートの集計・分析                                                                       |
| 2月  | ○最終評価（職員の自己評価・園の自己評価）<br>○保護者、設置者への報告、改善策の検討                                          |

### 2. 評価結果

総括的な自己評価結果について

〈成果〉

#### ① 保育・教育活動の充実

乳幼児期からの体づくりを意識して年齢毎の発達を促す活動や、子どもたちが興味を示す活動を遊びの中に取り入れてきた。また、主体的な学びを保障するため環境構成に努め、教材や玩具の積極的な提示をしてきたことで、自ら工夫し繰り返し遊ぶ姿が見られだした。体の使い方が不器用で、コントロールが苦手な児が複数みられる中で、個々を把握しどのような支援が必要かを考え対応してきた。また、関わりが弱い児に対して興味のある遊びを他児と一緒にする工夫をしてきた。こうした取り組みを通して他児のしている遊びに興味を示し、他児と関わりながらいろいろな遊びを楽しむ姿が見られだしている。出来る活動が増えたことは自信にも繋がっている。

#### ② 職員の育成・資質向上や運営

職員会で子どもの様子を報告し、園全体で共有してきた。報告・連絡・相談に取り組み、必要な場合はその都度話し合い、情報共有を行ってきた。研修に積極的に参加し研修内容を職員会で他の職員に報告し、学んだことを職場全体の学びとしてきた。

#### ③ 地域に開かれた園づくり

今年度は、5歳児「親子での防災食作り」、4歳児「親子笑いヨガ体験」や保護者を対象とした絵本の読み聞かせ、一日保育者体験等新たな取り組みを実施するなど、コロナウィルス対応が緩和されたことを受け行事もコロナ禍前の内容へと戻し、親子の交流や保護者同士の交流を図ることを意識して実施してきた。また、クラス便り・園便りの発行については、保護者が保育への理解を深める内容となるよう、写真やイラストを使って分かりやすく伝えるようにしてきた。保育の中で大切にしていること、活動のねらい、年齢毎の発達などは、職員間で内容の検討をしながら紙面作りをし、保護者に伝えてきた。職員間で他のクラスの便りも参考にしながらより良い紙面作りに取り組む。保護者と子どもを中心に話をすることで信頼関係もでき、色々な話ができてきている。保護者からの意見を保育に活かしている。

〈課題・主な改善策〉

- ① 体づくりについては、体の使い方が不器用で、コントロールが苦手な児がみられる。また、他児との関りが弱い子も見られるので、今後も引き続きどのような支援が必要であるかを職員間で検討しながら対応していきたい。日々の保育の中では、子どもの要求を汲み取り、発達を見通した遊びの提供をしていく。
- ② 研修については、個々の学びを職場全体のものとするため報告、共有をしてきたが、自園の課題として学習を深めることが充分でなかった。若い職員が多いので全体の中で自分の意見が言える工夫をし、職員全体で議論ができるように取り組んできた。職員間で報告・連絡・相談に取り組む中で、的確に相手に分かりやすく伝えるということを意識して連携を図っていく。職員数の多さから抜かってしまうことがあるので徹底を図るため、内容によっては複数回に分けて会議を実施することや回覧や掲示等の工夫もしながら共有に努めていく。
- ③ クラス便りや園便りの発行については、保護者に活動のねらいや子どもの成長発達が理解してもらえるように職員間で内容の検討をしながら紙面作りをしていく。丁寧に知らせていくことで保護者との信頼関係を築けるように心掛けていきたい。

| 経営の柱                          | 今年度の重点目標                             | 評価項目                                                  | 評価指標と評価結果                                    |     |                                               |     | 分析・考察                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                               |                                      |                                                       | 取組指標                                         | 結果  | 成果指標                                          | 結果  |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ☆保育・教育活動の充実                   | 身近な環境と関わる中で豊かな心と丈夫な身体を育てる            | [指導内容・方法]<br><br>十分に体を<br>使って遊ぶ                       | 4 子どもたちが考え、友だちと協力して遊びが展開できるように環境を整える         | 2.8 | 4 友だちと遊びを展開し、体を自由に<br>使って遊びを楽しむ               | 2.6 | 乳幼児期からの体づくりを意識して年齢毎の発達を促す活動や子どもが興味を示す活動を遊びの中に取り入れてきた。遊びを発展させるために環境構成を工夫しながら、固定遊具やリズム遊びなど体を使った色々な遊びに取り組んできた。そうした中で子どもたちは体を使った遊びが好になってきている。しかし、体の使い方が不器用であったり、コントロールが苦手な児もいるため、どこに支援が必要なのかを把握し、個々への対応を行ってきた。できる活動が増えたことは自信にも繋がっている。今後も子どもの要求を汲み取り、発達を見通した遊びを提供していく。 |
|                               |                                      | 3 子どもの活動や状況に応じて環境の再構成を行なう                             | 3 自分の思った通りに体を動かし<br>て遊びを楽しむ                  |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2 子ども自らが体を使って意欲的に遊べるように支援していく | 2 自分の思いで体を使って遊ぶ                      |                                                       |                                              |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 1 子どもの活動に合った環境を整える            | 1 体を動かして遊ぶ                           |                                                       |                                              |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | [保育・教育の環境構成]<br><br>子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う         | 4 他クラスの活動や保育の中で大切にしていることを知り、保育の環境構成の設定や調整をする | 2.9 | 4 自分たちが始めた遊びを発展させながら遊びを繰り返すようになった子ども<br>75%以上 | 2.6 | 子どもたちの興味・関心があることを遊びの中に取り入れるようにしている。自ら遊びの工夫ができるように教材や玩具がすぐに使えるように環境を整えることで繰り返し遊ぶ姿や活動に興味を持ち始める姿が見られた。また、他児の遊びに興味を示し同じ遊びを楽しむ姿も見られる。好きな遊びを遊び込む力ができているので、更に自分たちで遊びを発展させていくような環境の工夫をしていきたい。                                                                             |
|                               |                                      | 3 季節やその時期に大切にしたいこと等を踏まえ、子どもの感性をくすぐるような壁面等、環境を整える      | 3 65%以上                                      |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | 2 子どもの活動や活動の状況に応じて環境の再構成を行う                           | 2 50%以上                                      |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | 1 一日の活動に必要な遊具・用具、素材等の準備する                             | 1 50%未満                                      |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ◆職員の育成・資質向上や運営                | 職務分担が機能し、職員がお互いに協同する保育の構築と園内研修の充実を図る | [組織運営]<br><br>日々の保育や子どもたちの様子等について、報告・連絡・相談に努め、情報を共有する | 4 職員会(月2回)で日々の保育や子どもたちの様子について報告し、共有する        | 3.7 | 4 報・連・相に努め情報を共有しようとする職員<br>90%以上              | 3.2 | 日頃から職員会で子どもの様子や保育の中での気づきを報告し、職員間で共有し解決策を考えてきた。連携が取れる体制づくりが必要である。報告・連絡・相談に園全体で取り組み、必要な場合は緊急の会議も行ってきた。しかし、職員の多さから抜かってしまうことがあった。情報共有においては、的確に相手に分かりやすく伝えることも意識していく。今後も回覧・掲示等も活用しながら共有に努めていく。                                                                         |
|                               |                                      | 3 計画や記録をきちんととり、定期的に提出する                               | 3 75%以上                                      |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2 必要に応じて、臨時の職員会を行なう           | 2 50%以上                              |                                                       |                                              |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 1 日頃から職員間で子どもに関する話をする         | 1 50%未満                              |                                                       |                                              |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | [研修]<br><br>研修内容を共有し、職員が協力して課題に取り組む                   | 4 研修内容を共有して課題を出し合い、全職員が協力して課題に取り組み保育を向上させていく | 2.5 | 4 研修内容を話し合い協力して保育の実施向上することができる                | 2.7 | 研修に参加する職員が多く、研修で得たことは職員会などで全職員に報告し共有している。しかし、こうした学びを自園の課題と照らし合わせ学習を深める機会をもっととることができれば良かった。日々の保育に充分活かすまでには至っておらず、研修での学びをそれぞれが実践し、振り返りもしていきたい。また、若い職員が多いので一人一人が自分の意見を言いやすい会議の工夫もしてきた。今後も職員全体で課題に向かい保育を向上させていく。                                                      |
|                               |                                      | 3 研修内容を共有し、協力して課題に取り組む                                | 3 保育の課題を共有し課題に取り組む                           |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | 2 定期的な職員会や必要に応じて会議を行い課題を出し合う                          | 2 職員会を開き職員同士課題を共有する                          |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | 1 回覧や口頭で知らせる                                          | 1 研修内容を職員会で知らせる                              |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ◎地域に関わった園づくり                  | 保護者や地域・関係機関と連携し、信頼される保育所づくり          | [情報提供]<br><br>園便りやクラス便りの発行をし、保育への理解を深める               | 4 週1回以上発行                                    | 2.4 | 4 (3)に加えより保護者が見やすいような紙面環境である                  | 2.5 | 子どもたちの活動の様子を写真やイラストを使って分かりやすく伝えるようにしている。また、保育の中で大切にしていること、活動のねらい、年齢毎の発達などは、職員間で内容も検討しながら紙面作りをし保護者に伝えてきた。しかし、職員の中にはクラス便りの中で十分伝えることができなかったという反省もある。他のクラスの便りも参考にしながら良い紙面作りを心掛けていきたい。                                                                                 |
|                               |                                      | 3 2週間に1回程度発行                                          | 3 (2)に加え子どもの活動内容に発達の視点や意図が加えられている            |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2 3週間に1回程度発行                  | 2 (1)に加え子どもの活動を伝える内容がある              |                                                       |                                              |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 1 月に1回程度発行                    | 1 お便りの内容がお知らせや予定だけである                |                                                       |                                              |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | [保護者との連携]<br><br>子どもの育ちや保育への理解を深める機会をつくる              | 4 必要に応じて家庭訪問や個別面談を行なう                        | 2.7 | 4 子育ての中で感じる喜びや不安、悩みをよく話してくれる保護者<br>90%以上      | 2.7 | 今年度は、4・5歳児で親子のふれあい参観日や保護者を対象とした読み聞かせ、一日保育者体験等新しい取り組みを実施した。懇談会や様々な行事を通して保護者同士の交流が持てる活動を実施してきた。また、登降時には、保育所での様子を丁寧に知らせることで保護者との信頼関係を築けるように努めてきた。保護者への伝え方の難しさを感じることもあるが、思いを受け止め子どもの成長を共に喜び合える関係を心掛けていく。                                                              |
|                               |                                      | 3 子どもの様子や子育てについて連携・共有できる機会を設ける                        | 3 75%以上                                      |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | 2 登降時に子どもを中心とした話をする                                   | 2 50%以上                                      |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                               |                                      | 1 保護者に進んで挨拶し、話しかける                                    | 1 50%未満                                      |     |                                               |     |                                                                                                                                                                                                                                                                   |